

1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する

◎全体の総括

基本目標1の進捗状況は「目標どおり達成」が大半を占めましたが、目標を一部達成できなかった事業も多くあり、評価が分かれる結果となりました。省エネ機器等の補助事業や自転車の走行環境整備事業等は計画を目標どおり達成しましたが、公共交通機関の利用者数は令和2年度よりも増加したものの、新型コロナウイルス拡大前の水準には戻っていません。なお、計画の評価指標である温室効果ガス排出量は2013年度と比べて156千t-CO2減少し、低炭素住宅の新規入居数は2020年度と比較して28戸増加しました。

◎評価結果（全13取組）

◎計画の成果を測る評価指標

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	0
目標どおり達成	4	7
一部未達	3	5
未達	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	1

評価指標	現状値	目標 (2030年度)
温室効果ガス排出量	1,897千t-CO2 (2018年度)	1,519千t-CO2 (2013年度比26%減)
低炭素住宅の新規入居戸数※	261戸 (2018~2021年度)	605戸 (累計)

※つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインで認定する戸建住宅でエネルギー消費量や断熱性能に優れた住宅

1-1 低炭素社会の実現に向けた様々な主体の取組の促進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
2	家庭や事業所をモニタリングして得られた省エネ効果等の情報の被験者へのフィードバック及び活用。	取得データの検証、省エネ効果や温室効果ガス排出抑制情報の広報	低炭素住宅認定者からデータを取得・整理。（-）	3
3 (1)	【重点施策】市域の地球温暖化対策を誘導するための組織を越えた関係者による事業の検討。	事業実施（継続）判断の参考となる定量的数値を含めた資料の作成	宅急便の再配達抑制事業、カーシェアリング推進事業の定量的数値を含めた資料作成。（関係3事業における資料の完成）	4

1-2 まち・建物の低炭素化

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
4	省エネ機器・低炭素住宅に対する費用補助。	低炭素住宅の認定戸数とCO2削減量	111戸/年、▲347t-CO2 (55戸/年、▲172t-CO2)	4
		燃料電池及び蓄電池の設置件数とCO2削減量	189件/年、▲42t-CO2 (150件/年、▲89t-CO2)	

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
5	「つくば市低炭素（建物・街区）ガイドライン」の効果的な見直し、運用及び住宅メーカー等へニーズ調査。	住宅メーカー等への聞き取り調査	住宅メーカー等への聞き取り実施（-）	4
6	コンパクトなまちづくりを推進するため「立地適正化計画」に基づく市の取組や施策を情報提供し、届出制度により住宅開発等の動向を把握。	-	立地適正化計画に係る市の取組や施策を情報提供し、住宅開発等の届出を18件受付し、立地動向を事前に把握（-）	-
7	公共施設におけるエネルギーの有効利用、設備の省エネ化及び低炭素な電力契約の導入。	つくば市役所におけるCO2排出量	48,768t-CO2（49,473t-CO2）	3

1-3 低炭素な交通システムの実現

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
8	コミュニティバス「つくバス」の運行及びそれを補完するデマンド型交通「つくタク」の利用促進。	つくバス利用者数	738,118人（1,017,600人）	3
		つくタク利用者数	44,380人（54,800人）	
9	「つくば市自転車安全利用促進計画」に基づく自転車の安全教育、走行環境整備。	市民意識調査の設問「日常利用する交通手段に自転車と回答した市民の割合	24%（21%）	4
10	自転車等駐車場の整備、維持管理。放置自転車対策。	駐車場等整備及び維持管理	駐車場拡張工事の実施、駅前放置自転車の撤去及び指導。（-）	4
12	公用車の低炭素車使用の促進及びエコドライブの啓発。市民への低炭素車購入補助。	低炭素車購入補助の交付台数とCO2削減量	18台/年、▲20t-CO2（45台/年、▲52t-CO2）	3

1-4 気候変動と関連する災害による影響の低減

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
13	ハザードマップや防災の出前講座等を通じて、気候変動の適応や災害への備えを周知。	-	出前講座の開催15回 広報つくばへ災害情報等の掲載4回、避難所利用動画を市HP等で周知（-）	4
14	気象情報や「暑さ指数」の提供、注意喚起、熱中症の予防・対処法の啓発等の実施。	既存事業の見直し、新規取組のための協議	市HP等で注意喚起。 熱中症予防講話実施66回（-）	4
15	農業における気候変動の影響を軽減する技術や方策等の情報収集、発信。	市HPへの掲載数	0件（1件）	3
		広報つくばへ掲載数	0件（1件）	

2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ

◎全体の総括

基本目標2の進捗状況は「目標どおり達成」が多いものの、2事業が「未達」評価でした。「目標を大幅に超えて達成した」と評価した事業は、違反広告物の除去パトロールや花苗配布事業でした。イベント事業に新型コロナウイルスの影響が出ていますが、屋外型イベントは感染対策を工夫しながら開催しており、おおよそ目標を達成している状況が見られました。なお、生物多様性つくば戦略は、学術機関や環境マイスターを中心に講演会や文献調査でスキルアップを図っています。

◎評価結果（全17取組）

◎計画の成果を測る評価指標

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	2
目標どおり達成	4	10
一部未達	3	3
未達	2	1
未実施	1	0
評価せず	-	1

評価指標	現状値	目標 (2030年度)
つくば市の緑地面積 (山林原面積+農地面積+都市公園面積)	16,008ha (2020年)	現状維持
生物多様性つくば戦略	策定懇話会の開催要項を制定	策定(2025年度) 取組の推進

2-1 生き物・生態系の保全

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
19	森林所有者との協定に基づく荒廃した山林の整備。	土地所有者との森林保全協定締結数	18件(30か所)	3
21	市民協力による特定外来生物（アライグマ）捕獲・防除。	特定外来生物（アライグマ）の捕獲頭数	206頭(200頭)	4
22 (18) (20)	生物多様性つくば戦略の策定。策定懇話会の設置、作業部会の開催、地域動植物データの収集。	策定懇話会（仮称）の設置	策定懇話会の開催要項を制定(-)	4

2-2 里地里山景観の保全

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
24	「つくば市屋外広告物条例」の適正運用。簡易除却対象広告物のパトロールと除却活動。景観形成基準（形態意匠、緑化等）との適合審査。	簡易除却対象広告物確認のパトロール実施回数	84回(40回以上)	5
25	グリーンバンク制度及び市民ファーマー制度に係る農地斡旋・仲介による農地有効利用の促進。第2次つくば市鳥獣被害防止計画に基づく対象鳥獣による被害防止。	グリーンバンク賃借契約成立面積	6.7ha(6.0ha)	4
		鳥獣による農作物被害金額 イノシシ及びカラスの捕獲頭数	10,370千円(昨年度比1,462千円の減) イノシシ：193頭(550頭) カラス：324羽(350羽)	3

2-3 都市の緑を増やし、質を高める

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
26	都市公園・都市緑地・その他の公園の計画的な植栽維持管理。	公園植栽の維持管理	354 か所の公園・緑地の維持管理を実施(351 公園)	4
27	新規立地企業に対して、工場立地法に基づき緑地の整備を指導。	新規立地企業の敷地内緑地率	20%達成(20%以上)	4
28	T X 沿線開発地区の区画整理事業の進捗に合わせた公園・緑地等の整備。	新規公園面積	0.16ha(0.16ha)	4
29	学校施設の芝生、緑地等の維持管理。新增築等計画時の植栽計画検討。	適切な植栽配置の検討及び維持管理	樹木選定・害虫駆除及び防虫処理・芝管理業務の委託。(－)	4
30	市民が公園の「里親」となって、公園の世話（清掃・除草・花壇の手入れなど）をする「アダプト・ア・パーク事業」の実施。	アダプト・ア・パーク参加団体数	39 団体(38 団体)	4
31	市民協働による花壇等の維持管理。地域で活動する団体への花苗配布。	花苗配布団体数	144 団体(130 団体)	5
32	地区計画で用途、緑化率等の制限を定め、きめ細やかな土地利用の誘導を図る。	地区計画決定に向けた打合せ	吾妻第三地区地区計画を決定。(－)	—

2-4 自然とふれあう

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
33	宿泊型体験施設を活用した収穫体験などの体験型余暇活動の実施。	体験事業実施回数及び参加者数	筑波ふれあいの里※新型コロナウイルスの影響で中止(500 人) 豊里ゆかりの森 37 回 686 人(35 回、468 人)	3
34	森林ボランティアとの協働による森林保全管理、高崎自然の森の自然環境を活用した自然環境教育や森林体験、収穫体験イベントの実施。	体験イベント参加者数	98 名(1,100 名) ※ 新型コロナウイルスの影響により一部中止。	2
35	市民及び環境スタイルサポーターズ会員向けに筑波山自然環境教育事業を実施。筑波山麓の湧水の現況調査を実施。	自然環境教育事業参加者数	82 名(100 名) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止。	4
36	ジオパーク専門員やジオガイドによる出前授業や学生を対象とした支援プログラムの実施。認定ジオガイド講座及びジオツアーの開催。	学校教育プログラムの作成、環境保全をテーマにしたジオツアーの実施	学校教育プログラム作成のための基礎資料を作成。環境保全をテーマにしたジオツアーを開催。(－)	4
37	栽培作業に関わりながら生産物が提供される農産物オーナー制度や農業体験イベント、農作業のボランティアを行う農業サポーター制度等の実施。	農産物オーナー制・農業体験イベントの参加者数	590 名(600 名) ※新型コロナウイルスの影響により一部イベント中止。	4

3 資源を賢く使う循環型社会に近づく

◎全体の総括

基本目標3の進捗状況は、すべての評価が「目標どおり達成」となりました。子ども向けの啓発や市民参加のイベント等は、新型コロナウイルスの影響により一部中止となりましたが、ほぼ予定どおり実施することができました。計画の評価指標である市民一人当たりの生活系ごみ排出量は、2020年度より1日当たり21g/人減少し、リサイクル率は2019年度より0.6%上昇しました。

◎評価結果（全8取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	0
目標どおり達成	4	7
一部未達	3	1
未達	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状値	目標 (2029年度)
市民一人当たりの生活系ごみ排出量	658g/人・日 (2021年度)	648 g/人・日
市民一人当たりの事業系ごみ排出量	401g/人・日 (2020年度)	393 g/人・日
リサイクル率	21.7% (2020年度)	25.0%

3-1 3Rの推進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
38 (39)	資源物集団回収及び生ごみ処理器等購入の推進。子ども向けの3Rの促進・啓発。	資源物回収団体数	114団体（117団体）	4
		牛乳パック回収量	2,129kg（3,000kg）	
		3Rニュース発行数	1回（2回）	
40	学校等と連携した3Rの促進。環境イベントにおけるリユース食器導入の検討。	プラスチックごみの削減とリサイクル推進に係る啓発実施	サポーターズニュース発行7回、省エネ及び廃棄物減量の啓発実施（-）	4
41	事業系ごみの業種別排出状況の把握。多量排出事業者への一般廃棄物減量化等計画書提出の要請。飲食店等の食品ロス削減の推進。	一般廃棄物減量化等計画書提出事業者数	50事業所（100事業所）	4
		いばらき食べきり協力店への登録数	26店舗（20店舗）	
42	回収した家庭用廃食用油によるBDFの精製、公用車（サステナスクエア内の作業車両等）での活用。	家庭用廃食用油回収量	14,838L（10,000L）	4

3-2 廃棄物の適正処理

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
43	廃棄物処理の適正管理。サステナスクエアの維持管理。	-	最終処分追跡調査により焼却灰適正処分を確認。(-)	4
44	粗大ごみの戸別収集実施。ごみカレンダー配布及び分別アプリの周知。	粗大ごみ収集予約件数	14,513件（12,000件）	4
		ごみ分別アプリのダウンロード数（年間）	10,068件（8,000件）	
45	県による市内産業廃棄物処理施設の立入調査、不適正管理案件調査・指導協力。	産廃処理施設への立入調査件数	0件（2件）	3
		産廃不適正保管等の調査件数	0件（2件）	
46	ごみ焼却施設の安定稼働。	-	包括的運転管理受託者への定期的な指導及び監督の実施。(-)	4

4 安心で快適な生活環境で暮らす

◎全体の総括

基本目標4の進捗状況は「目標どおり達成」と「一部未達」の評価となりました。目標値を達成した不法投棄パトロールは、年間355回実施し、市内の不法投棄数は減少しているものの、依然として不法投棄は絶えない状況が続いています。一部未達となった環境美化活動は、新型コロナウイルスの影響により、実施者数は目標値をやや下回ったものの、2020年度の倍以上の実績値となりました。

◎評価結果（全11取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	0
目標どおり達成	4	8
一部未達	3	3
未達	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状値（2018年度）	目標（2030年度）
市民の環境不満足度（5年に1度の調査）	空気のきれいさ：5.8% 水のきれいさ：18.4% 静けさ：13.2% ごみ収集や処理方法：9.5%	現状より改善

4-1 清潔で静かな生活環境の確保

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
47	環境美化活動（ごみ拾い等）を行う個人・団体へ清掃用具の支援及び「きれいきれい大作戦」への市民参加推進。	自発的な環境美化活動者数	9,848人(10,250人)	3
49	市内一斉清掃と自治会への呼びかけ。不法投棄パトロールの実施と不法投棄ごみの回収。不法投棄禁止看板の無料交付、及びごみ集積所の設置補助。	市内一斉清掃の実施回数	0回（2回）	4
		不法投棄パトロール実施回数	355日（350日）	
		集積所設置事業補助金の交付件数	25件（30件）	
50	野焼き行為禁止に関する区会回覧及び広報紙による注意喚起及び防犯環境美化サポーターによる巡回パトロール及び指導。	区会回覧及び広報紙による周知回数	3回（4回）	4
		防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロール日数	355日（350日）	
51	農業用廃プラスチックの回収及び適正処理の啓発。新たなストックヤード候補地について調査、交渉。葉刈り芝の回収、たい肥化促進のための発酵促進剤及び消石灰の配布。	農業用廃プラスチックの回収量	31,100kg（55,000kg）	3
		葉刈り芝の回収量	44,610kg（41,000kg）	

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
52	公害法令に基づく道路騒音調査等の常時監視、届出審査、立入検査・指導、一般環境調査及び公害紛争処理法に基づく苦情処理。「公害防止協定」、「公害防止確認書」の運用、調整。	騒音振動規制基準超過件数	1件（0件）	4

4-2 安全な生活環境の確保

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
53	公害法令に基づく地下水調査、常時監視、届出審査、検査・指導、一般環境調査及び公害紛争処理法に基づく苦情処理。「公害防止協定」、「公害防止確認書」の運用、調整。	排水規制基準等超過件	3件（0件）	3
54	高度処理型合併処理浄化槽の設置及び単独浄化槽からの転換経費補助。	浄化槽補助申請数	101件（100件） ※うち工事中止3件	4
55	配水管等の破損等の緊急時における修繕工事の実施。	-	配水管等修繕工事 103件（-） 消火栓修繕工事 14件（-）	4
56	公共下水道の整備の実施、中継ポンプ場、マンホールポンプなどの下水道施設の適正な維持管理及び改築工事。	下水道普及率	未確定（85.70%）	4
57	農地からの表土流出を防止するカバークロープ事業の実施。土壌への炭素貯留や生物多様性保全に効果的な営農活動の推進。化学肥料等を低減した環境保全型農業の推進、農薬の適正使用の周知。	カバークロープ補助対象面積	44.8ha（50ha）	4
		環境保全型農業直接支払交付金対象面積	16.5ha（15ha）	
		有機資材購入費補助対象面積	205ha（150ha）	
		農薬の適正使用に関する市HP掲載及び広報つくば掲載回数	市HP掲載1回（1回） 広報紙掲載2回（1回）	
58	PRT法に基づく対象化学物質の排出量・移動量情報の公表データの閲覧しやすい環境の形成	-	市HP掲載。（-）	4

5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する

◎全体の総括

基本目標5の進捗状況は「目標どおり達成」が半数であり、「一部未達」が4施策、「未達」が1施策となりました。「一部未達」及「未達」と評価した事業は、自然環境教育事業等の参加型イベントが多く、新型コロナウイルス対策として、開催日の延期や参加人数の制限などを行った上で実施しました。

◎評価結果（全10取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	0
目標どおり達成	4	5
一部未達	3	4
未達	2	1
未実施	1	0
評価せず	-	0

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状値	目標 (2030年度)
環境配慮行動を行った市民の割合	58%※1 (2018年度)	90%※2
つくば市主催・共催の環境啓発事業参加者数	870人 (2021年度)	1,000人

※1：アンケート調査(5年に1度程度実施)の「環境配慮物品購入状況」

※2：アンケート調査(5年に1度程度実施)の「様々な環境配慮行動」

5-1 持続可能なライフスタイルの推進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
59	市の特性を生かした大人向け普及啓発活動や環境教育講座の実施。	民間事業者委託やジオパーク室とのコラボレーションで開催	環境教育事業の民間事業者委託事業2回、ジオパーク室とのコラボレーション事業2回(-) ※新型コロナウイルスの影響により一部中止。	4
60 (68)	【重点施策】環境分野で活躍する市民団体への支援強化や、情報を広く展開できる人材の発掘。環境配慮製品購入時の補助や会員制プログラムの内容の充実。	環境マスターの会及びジオパーク室共催による自然環境教育事業の実施	2回(-) ※新型コロナウイルスの影響により一部中止。	4
61	ホームページや広報紙等による最新の省エネ・環境情報や環境にやさしい生活の方法・工夫についての情報提供。	サポーターズニュース発行(アンケート含む)	7回(6回)	4

5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
62	つくばスタイル科における自然共生のための人間生活や、環境にやさしい社会づくり活動の推進。	実施計画の見直し、環境プログラムの修正再整備	SDGsシールコンテストをオンラインで実施。(-) ※新型コロナウイルスの影響により、事業の多くが中止。	2

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
63	学校における持続可能な社会づくりの担い手の育成。行政と学校の連携による環境・経済・社会の統合的な視点で課題解決できる人材教育プログラム等の検討。	教育プログラム等の調査実施	県の環境実践プログラム等（出前講座）の実施に向けた準備。（-）	3
64	地場産農産物の学校給食への導入と生産者と児童の交流機会設定による子どもたちの地元農産物に関する理解の促進。	食生活調査の「給食で地場産物を使っている認知度」	6月と12月に調査を実施。 5年生：76.2% 8年生：80.8% (80%以上)	3
65	環境学習イベントや自然体験プログラム等を通じた学校外での子どもたちの環境教育の推進。環境やSDGsに関する教材等の作成。	他自治体における教材等作成状況の調査実施	教材作成には課題が多いため、出前講座の実施を検討。稚魚放流事業2校実施（-）	4
66	自然や里山文化の体験プログラムを通じた筑波山麓の自然や文化への理解を深め、守り育てるという機運の育成。	実施回数	6回（8回）	3
		参加人数	122名（320名）	

5-3 環境と経済の好循環

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（目標値）	評価
69	農産物の地産地消を推進するため、6次産業化支援、地産地消レストラン認定事業の実施。	地産地消レストランの認定数（累計）	153店舗（150店舗）	4
70	学校給食における地場産物を活用した献立作成。地元農産物生産者による食育授業の実施。	学校給食における市で生産・収穫された食品数の割合	18.8%（20%以上）	3